

「安全」「コスト」信念貫く非生分解性

シバセ工業 バイオマスプラのストロー発売

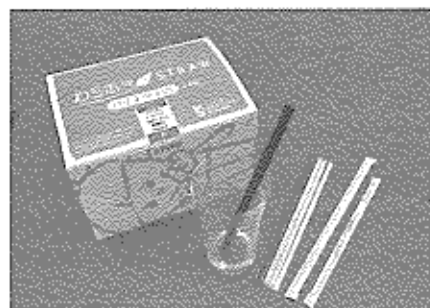
ストロー製造のシバセ工業(株) (浅口市鴨方町六条院中3037、磯田拓也社長、資本金1000万円)は、微生物に分解されないがCO₂の排出を抑制できる非生分解性バイオマスプラスチック製ストローを発売した。

温室効果ガス問題やマイクロプラスチック問題による逆風の中でも、素材や化学成分が溶け出さない安全性、保存可能期間の長さ、コストの低さ、リサイクル性の高さなどプラスチックストローの優位性を訴えてき

た同社が、信念を曲げずに開発したエコ商品。

カーボンニュートラルな植物由来のバイオポリエチレンを25%配合し、同社が重視するプラスチックの特性を満たした上で、既存の生産ラインを使い価格も既存商品の1割高に抑えた。紙製、生分解性はともに3~4倍の価格という。

昨春からの別注対応による市場調査を経て、標準規格品として売り出した。直径



コスト面でも優れる新商品

4.5mmのアイスコーヒー用から12mmのタピオカ用まで、サイズ、色の異なる30種類をラインアップした。バイオマスマーク認定商品。商品名は同社のブランド名と25%配合から「わらおストローバイオマス25」とした。